

令和3年度
地域活性化
システム論

農学と 地域活性化

受講料
無料
(事前にお申込み
ください)

令和3年10月30日 - 令和4年1月8日
(土曜日 13:00~ / 全3回)

【対象者】岡山大学学生・地域活性化に関心のある企業・自治体・NPO団体・県民・市民の方など

第1回講義 第20回岡山大学農学部公開シンポジウム

テーマ：「**日本ワインと地域活性化**」 会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

日時：令和3年10月30日(土) 13:00-17:00

講師：後藤奈美氏 (独)酒類総合研究所 前理事長

小西 超氏 (株)ヴィラデストワイナリー代表取締役社長栽培醸造責任者

日本ワイン農業研究所(株)アルカンヴィーニュ取締役醸造責任者

新田直人氏 前 真庭市産業観光部長(現 農林水産省農村振興局農村計画課都市農業室長)

パネリスト：上記3名の講師に加え

平野幸司氏 (株)果実工房代表取締役社長

コーディネーター：神崎 浩氏 岡山大学学術研究院環境生命科学学域 教授

主催：岡山大学農学部

後援：岡山県 / 中国四国農政局 / 岡山県農業協同組合中央会 / NPO法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会

概要：日本で栽培されたブドウから造られるワイン、「日本ワイン」が注目を集めている。日本の気候はワイン用ブドウの栽培に向かないとされてきたが、関係者の努力でワインの品質が向上し、海外のコンクールでも受賞する品質のよい製品が現れている。このような状況下で、地域の特性を活かした新規ワイナリーの設立ラッシュが起こり、新規就農でぶどう栽培を始めてワイナリー設立を目指す事例も増えている。そこで本シンポジウムでは、ワイン研究者、地域のワイナリー事業者、行政職員という多様な立場の講演者より、日本ワインの現状とその地域活性化との関連について講演をいただく。また、それらの講演の内容を基に日本ワイン産業と地域活性化の将来についてディスカッションを行う。

第2回講義

テーマ：「**学士農業のススメ - 農業女子編 -**」

日時：令和3年12月18日(土) 13:00-17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：中山菜々子氏 2009年岡山大学農学部卒業

重森はるか氏 2013年岡山大学大学院

自然科学研究科博士前期課程修了

畦崎友梨氏 (株)エーアンドエス

コーディネーター：吉田裕一氏

岡山大学学術研究院環境生命科学学域 教授

概要：卒業生を中心に様々な形態で農業に従事する女性を講師として招聘し、女性が主体的に参画する農業のあり方と可能性に関して議論する。

第3回講義

テーマ：「**土地利用型作目を核とした
地域農業活性化**」

日時：令和4年1月8日(土) 13:00-17:00

会場：岡山大学農学部3号館4階 多目的室

講師：現在調整中

コーディネーター：駄田井 久氏

岡山大学学術研究院環境生命科学学域 准教授

概要：地域活性化産業と土地利用について議論する。

お問い合わせ
お申込み先

岡山大学農学部総務担当 〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1-1

TEL：086-251-8282 / FAX：086-251-8388 / E-mail：QEE8273@adm.okayama-u.ac.jp

URL：https://www.okayama-u.ac.jp/user/agr/

*受講される方は必ずマスクを着用ください

*単位履修学生は教務学生担当へお申込みください

*各回のみ参加、履修登録されていない学生も大歓迎です

*準備の都合上、事前にお申込みください

◆氏名◆所属(勤務先) (学生の場合は大学名・学部・学年・研究室名も)

◆連絡先(電話番号 / e-mailアドレス)



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

世界への扉を開く